

統一教会に賠償命令

元信者らに2億7千万円

札幌地裁

統一教会に違法な勧誘で入信させられ精神的苦痛と経済的被害を受けたとして、道内を中心とする元信者ら63人が同教会に総額約6億6500万円の損害賠償を求めた訴訟の判決が29日、札幌地裁であった。橋詰均裁判長は「違法な布教活動が組織的に行われていた」として、教会側に計約2億7900万円の支払いを命じた。

訴えたのは主に1980～90年代に入信した札幌や旭川などの元信者とその親族ら。判決によると、元信者は統一教会と知らされないまま自己啓発セミナーなどに勧誘されて活動に参加。この際「不幸な出来事は先祖の因縁のせい。清算しなければ子孫も不幸になる」などと不安をおおられ、宝石などを買わされたり数百万円前後の献金をさせられた

りし、自らも親族などから献金を集めた。一部は合同結婚式で見知り、あまりにもずさんで遺憾だ」とのコメン

羊蹄丸 愛媛に到着

船内を公開後、解体へ

東京・お台場の博物館「船の科学館」で展示が終了し愛媛県新居浜市の一般社団法人「えひめ東予シップリサイクル研究会」に無償で譲渡された旧青函連絡船「羊蹄丸」が29日、新居浜東港に到着した。同市内での一般公開後、解体し船舶の再利用研究に活用する。

「一連の伝道活動は宗教性や入信後の実践内容を秘匿して行われ、自由意思をゆがめて信仰への隷属に導いた不正なもの」と指摘。「任意の信徒団体の活動で、統一教会は関与していない」とした教会側の反論を退けた。

新居浜市は4月27日から6月10日まで船内を一般公開する予定。研究会によると、公開後は7月ごろから解体を始める。有害物質を処理した上で鉄などを再利用できる資源を取り出す。

北海道管区行政評価局は29日、札幌市内の125施設を対象に自動体外式除細動器(AED)の維持管理状況を調査したところ、全施設の13%でバッテリー切れなどが見つかり、緊急時に使えない恐れがあると発表された。

調査は昨年8月、札幌市の住

AEDの13% 使えない恐れ

札幌の125施設
民から「電源が作動
フルがあるようだ」
正な維持管理を求め
け、昨年12月から今
けて駅や社会福祉施
5施設を抽出して表
この結果、バッテリー